

1. 本園の教育・保育目標

「なかよく あかるく元気に 挑戦する子」の育成

2. 本年度の重点と取組

- 【教育方針】 自分で考えて行動したり、自分から挨拶したりする子どもを育てる。
- 【教育・保育内容】 集団としての基本的な生活態度の育成。子どもが興味関心をもって取り組む環境づくり。
- 【保護者との連携】 相談しやすい雰囲気づくり。適切な情報発信の工夫。
- 【食育】 植物の栽培やクッキングなどを通して食べる楽しさを味わう。給食のマナーを学ぶ。
- 【安全管理】 危機管理マニュアルの見直し。安全点検の実施。避難訓練等を通しての安全教育。

3. 評価項目と内容および取組状況

☆評価 A：十分達成 B：ある程度達成 C：部分的な改善が必要 D：全面的な改善が必要

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
教育方針	1・子どもたちは保育目標である「なかよく・あかるくげんきに・ちょうせんする子」に向かって健やかに成長していると思う。 2・園生活を通して、子どもたちは経験の場は広がっている。	A	園だよりや「ルクミー」で毎月の保育・教育目標や子どもたちの姿を伝えることで、日々の子どもたちの様子が保護者に伝わるよう工夫している。参観や懇談を利用し、本園の教育理念や今後の成長の見通しなどを保護者へ発信することで、家庭との連携をはかる。また、職員間においても園内研修、学年ミーティングを重ね、共通理解に努めている。今年度は「公開保育」があり、より深いこども理解につながった。日々の活動を通して、子どもたちの育ちや成長に必要な経験は何か、今後も研究を重ね、実践につなげていきたい。
外部評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育、方針、保育内容等を保護者へ発信し、理解していただくようとする日常からの努力と真摯な姿勢を感じます。 ・こどもと挨拶を交わす中で成長を肌で感じる。保護者は連絡内容に一喜一憂しながら、我が子の成長を実感するのだと思う。 ・一層丁寧で正確な連絡を期待する。また職員間には穏やかで自由闊達な雰囲気は漂っており、適切な教育が行われている。 	

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
教育・保育内容	3・保育の中で、不適切な行動・発言に配慮し、適切なかかわりができている。 4・集団としての大切なルールを身につけている。 5・子どもたちがこども園に行くのを楽しみしている。	B	日常の保育を振り返り、職員一人ひとりが自らのかかわりを点検することを通して、未然防止と改善につなげている。その一方で、一部の保護者より誤解を招く保育者の発言について指摘を受けることもあり、こどもの人権と尊厳を守ることを重要な責務と捉え、今後も不適切な保育の防止に継続的に取り組んでいく。集団生活の中では必要な約束ルールを理解し、守ろうとする姿が見られる。また挨拶や他者への思いやりについて、日常の関わりの中で意識的に育てていくことを重点とします。園生活は保育者や友だちとの信頼関係で成り立っていることから、こども一人ひとりの気持ちに寄り添った関わりを継続し、保育者とこども、こども同士の信頼関係をより一層深めていく。
外部評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者やこども一人ひとりとの信頼関係を築いていくことで、より良い園となっていくことと思います。 ・職員は園児の人格を尊重しつつ、団体における規律、礼儀を丁寧に指導している。保護者の思考は多様。迎合のみならず、時には毅然と説明する実力を培っておく必要もある。朝の満面の笑みは登園の喜びを表現している。 	

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
保護者との連携	6.こども園でのこどもの様子が、保護者に適切に伝わっている。 7.職員との連絡や相談がしやすいと感じる。 8.園からの情報提供(おたよりやルクミー)はわかりやすいと感じる。	A	保護者との日常的なやり取りを大切にし、信頼関係を築きながら連携を図っている。連絡帳や送迎時の対話、電話などでこどもの近況を伝えるとともに、家庭との情報共有に努めている。多忙な保護者には連絡が控えめになる傾向が見られるため、すべての保護者に必要な情報が均等に伝わるよう工夫していく必要がある。また、連絡アプリを活用し、園でのこどもの様子や行事等について、適切なタイミングで分かりやすく情報発信できるようにしている。
外部評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連携を大切にし、工夫されている様子がわかります。今後も園の保育内容とこどもたちにそこから何が育っているのか発信していくと良いと思います。 保護者との間に相互信頼が構築されていると感じる。園内ではリーダーを核として活発なミーティングが行われ、必要な情報共有が行われている。各種行事に参加できない保護者ほど、密度濃く成長と変化を連絡する必要がある。 		

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
食育	9.こどもたちは、園の給食を楽しみにしていますか？ 年齢に応じた食育への取り組みがされていますか？ 10.こども園は、こどもがおいしく安心して食べることができるよう工夫されていると思いますか？ 11.野菜の栽培・収穫を通して、こども達が食に対する関心をもてるようにしていますか？	A	本園の特色でもある「食育」の活動では、保護者の方からも一定の評価を頂いている。0.1.2歳児から食材に触れることで、食への興味、関心が育まれている。クッキング活動では、年齢に応じた内容を工夫し、こどもたちが食材に触れ、作る楽しさや食への関心を深められるよう取り組んでいる。また野菜の栽培から収穫、食へと関心へとつなげ、食べ物を大切にする気持ちを育ててきた。食べ物の名前や栄養、色などへの理解を深めることで、言葉の発達を促すとともに、こどもたちの表現力や思考力の育ちにつながっている。
外部評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> 園の特色である「食育」の取り組みは素晴らしいものであると思います。これからも充実し、こどもたちの経験がより豊かになっていくと良いと思います。 保護者から食事習慣の情報を正確に入手し、個々の園児に応じた食指導が適切に行われていると感じる。過去の全国的な事故の事例を踏まえ、体調と食癖に配慮した食提供を望む。食材栽培は貴重な体験であり、更なる提供を望む。 		

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
安全管理	12.こども園は、不審者等の防犯に向けての取り組みができていますか？ 13.こども園は、災害等の訓練を行いこどもたちに伝わっていますか？ 14.こども園内の環境は、安全に整えられていますか？ 15.こども園は、おこさまのけがや病気に適切に対応されていると思いますか？ 16.こども園は、感染対策の状況等を適切に発信していますか？	A	不審者対応を想定した訓練や、日常の施錠・来園者確認等を通して、防犯意識の向上に努めている。今後も職員間での共通理解を図り、継続的な取り組みを行っていく。災害等を想定した訓練を定期的実施し、こどもたちが状況に応じて行動できるよう、分かりやすく伝えている。訓練を重ねることで、防災意識の定着を図っている。 園内の設備や遊具について、日常点検や環境整備を行い、安全に配慮した環境づくりに努めている。今後も危険箇所の早期発見・改善を継続していく。 おこさまのけがや体調不良時には、状況に応じた適切な対応を行い、必要に応じて速やかに保護者へ連絡している。職員間での情報共有を大切にし、対応の統一を図っている。感染症対策については、園内での予防や対応を行うとともに、連絡アプリ等を活用して保護者への情報発信に努めている。今後は、より分かりやすい発信方法について検討していく。
外部評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> 先生方が危機管理意識をもって、日々の保育をされている姿勢は素晴らしいです。今後も継続し、安心安全な園作りに努めていただけたらと思います。 来訪部外者に対する警戒心は浸透している。不審者、災害対策等は訓練を継続することにより、有事の成果が期待できる。一連の訓練を望みたい。また施設、遊具の点検等は事前に担当者を指名し、責任付与させることが効果的である。 		